

# 赤星式音楽療法実施

## 愛全園在宅センター

ら赤星式音楽療法を実  
施している。参加者は  
毎回35名ほどで、認定  
音楽療法士の伊藤かず  
みさんが行っている。

同施設は、今年10月に  
都内で開催された東京  
都社会福祉協議会が主  
催した事例研究大会で  
この音楽療法を発表し  
たりと、音楽療法に注  
力している。

6週間に少なくとも  
1度は、この音楽療法を  
受けられるよう利用者の  
スケジュールが組み込ま  
れている。手をグーパー  
し、指先を合わせ脳に刺  
激を与える運動や指をひ  
ねり血液の循環を巡らす  
運動から始まり、その後  
の嚙下体操では思いきり  
舌を出したり、「うさぎ  
とかめ」の音楽に合わせ  
片足ずつ上げ下げする体



操も取り入れている。

使用する楽器は、す  
やタンバリンの他に、手  
作りのシェイカーをそ  
れぞれの音楽に合わせ使  
用。毎回利用者の一人が  
太鼓でテンポを取り、3  
拍とゆっくりだったリス  
ムを徐々にアップテンポ  
にしていく。1時間の音  
楽療法が終わる、利用者  
が退場する時も、伊藤さ  
も役立てる。

伊藤さんは、かつて合  
奏曲をプログラムに取り  
入れていたが、利用者が  
歌いやすい童謡や唱歌に  
変更したりと工夫を凝ら  
す。セッション後は、講  
師と職員がミーティング  
を開き、反省点をあげ改  
善策に取り組む。同施設  
では、職員も主役となり  
利用者と一緒に音楽を楽

今後は、さらに認知症  
の高齢者にもアピールし  
ていきたいと、丸山園長  
は抱負を語る。

長は当時を振り返る。

んは残り1人が退場する  
までピアノ演奏で見送  
としていく。  
もともとは、同じ敷地  
内にある特養でこの音楽  
療法が実施されており、  
デイサービスでも活用し  
ようと取り入れた。

「特養とデイサービス  
では高齢者の身体機能や  
人数も違うため、特養で  
やっていた音楽療法をそ  
のまま取り入れても、デ  
イサービスではうまく機  
能しませんでした。定期  
的に入居者にヒアリング  
を重ね、モニタリングを  
し現在の形へと作り上げ  
ました」と、丸山和代園  
長は当時を振り返る。



丸山和代園長

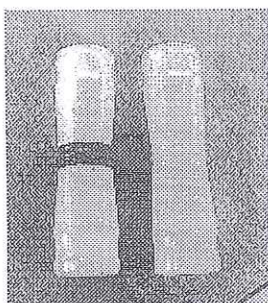
### 指先・嚙下の体操 手製楽器も使用

デイサービス愛全園在  
宅センター（東京都昭島  
市）では、2006年か

片足ずつ上げ下げする体

が退場する時も、伊藤さ

利用者と一緒に音楽を楽



▶手作りのシェイカー

#### <ホーム概要>

名称：愛全園在宅センター  
施設類型：デイサービス  
定員：36名  
事業主体：社会福祉法人同胞互助会  
住所：東京都昭島市田中町